

現下の円高が産業に与える影響に関する調査
(中小企業編)

2011年9月
経済産業省

～目次～

1. 想定為替レート..... p. 3
2. 円高の企業収益への影響と企業の対応..... p.4
3. 諸外国による日本企業誘致の現状..... p.7

調査の概要

【調査期間・対象企業】

- 調査期間 : 平成23年8月22日(月)～8月26日(金)
- 対象企業 : 各経済産業局を通じ、輸出製造企業を中心に、93社について、現場の「生の声」を聴取。
 - ・製造業 83社、非製造業 10社

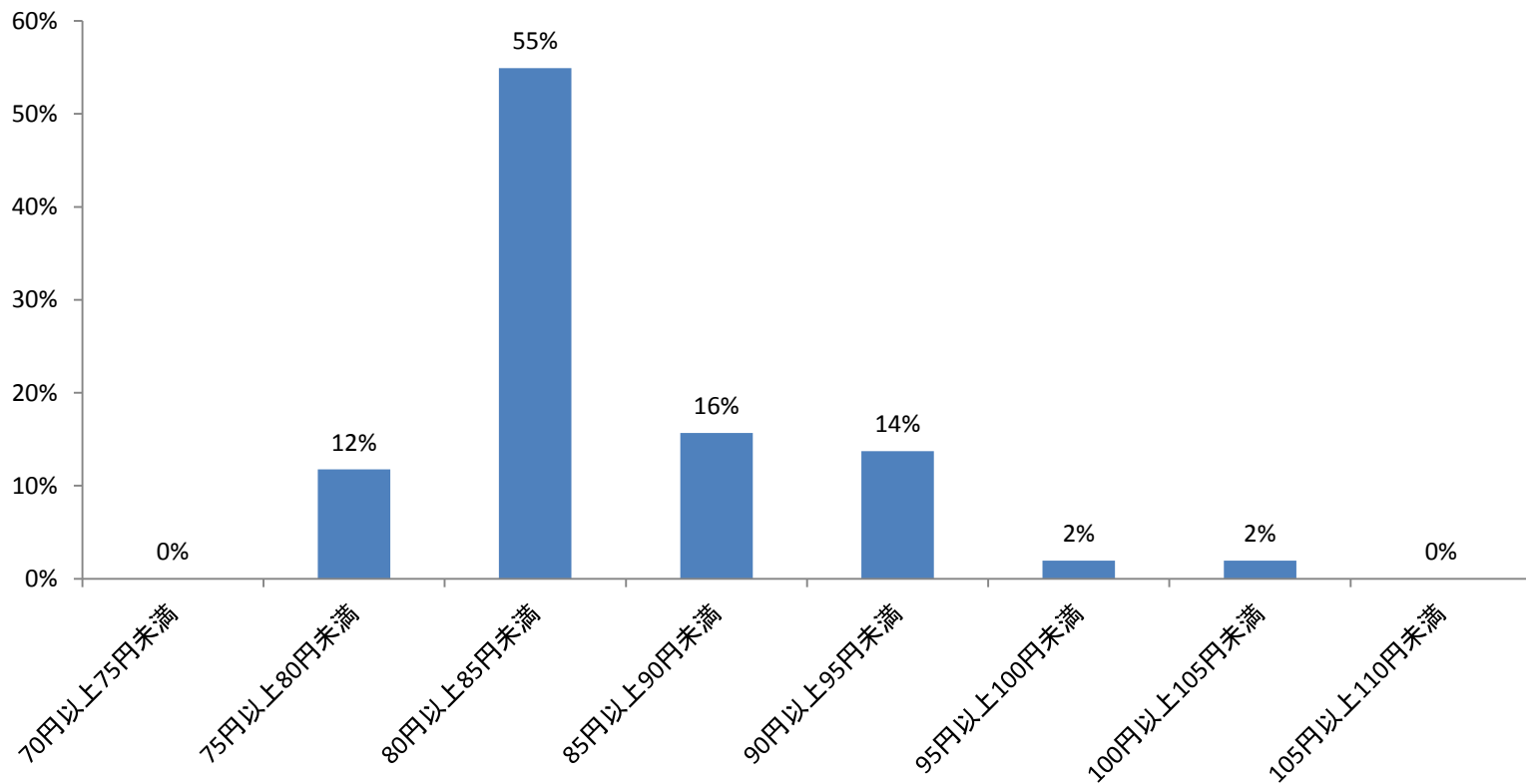
【調査期間中の為替レート(東京市場:終値(17:00時点))】

- 対米ドル: 1ドル = 77.06円(最安値:8月26日(金))～ 76.63円(最高値:8月24日(水))

1.想定為替レート

○想定為替レート(対米ドル)は、80円前半に設定している企業が多い。

通期想定為替レート

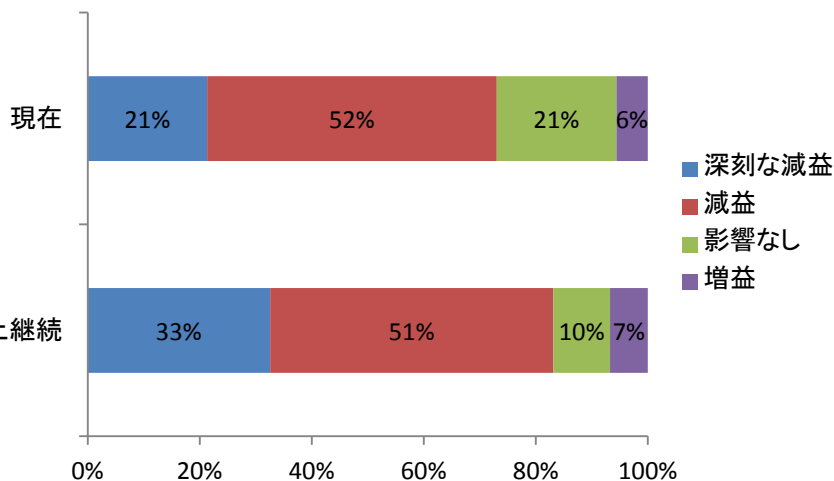


2. 円高の企業収益への影響と企業の対応

① 企業収益への影響

○現在の円高水準では、減益となる企業が7割強に上り、半年継続した場合には、減益を予想する企業が8割を超える。

収益への影響



(回答数: 89)

企業の声

○海外展開の方向を決め走り出したら急激な円高、どこも価格調整をする余裕がない。先の読めないトンネルの中だ(輸送用機械器具製造業)。

○コストダウン要請が厳しくなっている(プレス加工業)。

○大手は部品の現地調達に急速に動いている(精密部品製造業)。

○急激な円高に対しては、海外生産の拡大、コスト削減くらいしか手段がないが、それも限界がある(汎用機械器具製造業)。

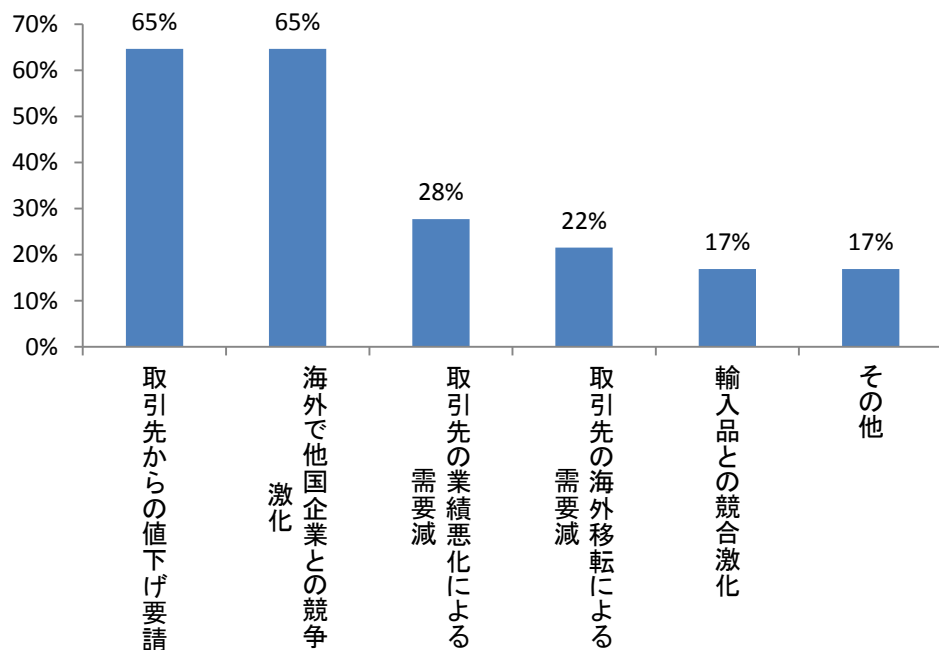
○現在の円高では価格転嫁、円建て取引などできないため、長期化すれば、取引量の減少や取りやめになるおそれがある(窯業)。

○円高は国内からの旅行者が増えることからプラスに影響(旅行業)。

②減益の原因

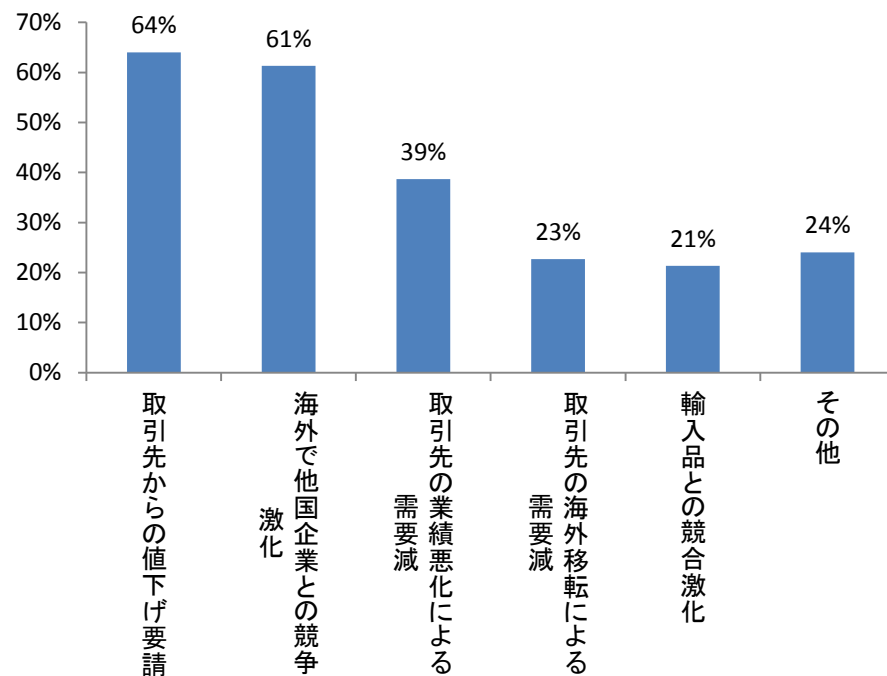
○主な減益の原因として、値下げ要請、他国企業との競争激化等があげられている。

減益の原因(複数回答)



(回答数: 65)

半年続いた場合の減益の原因(複数回答)

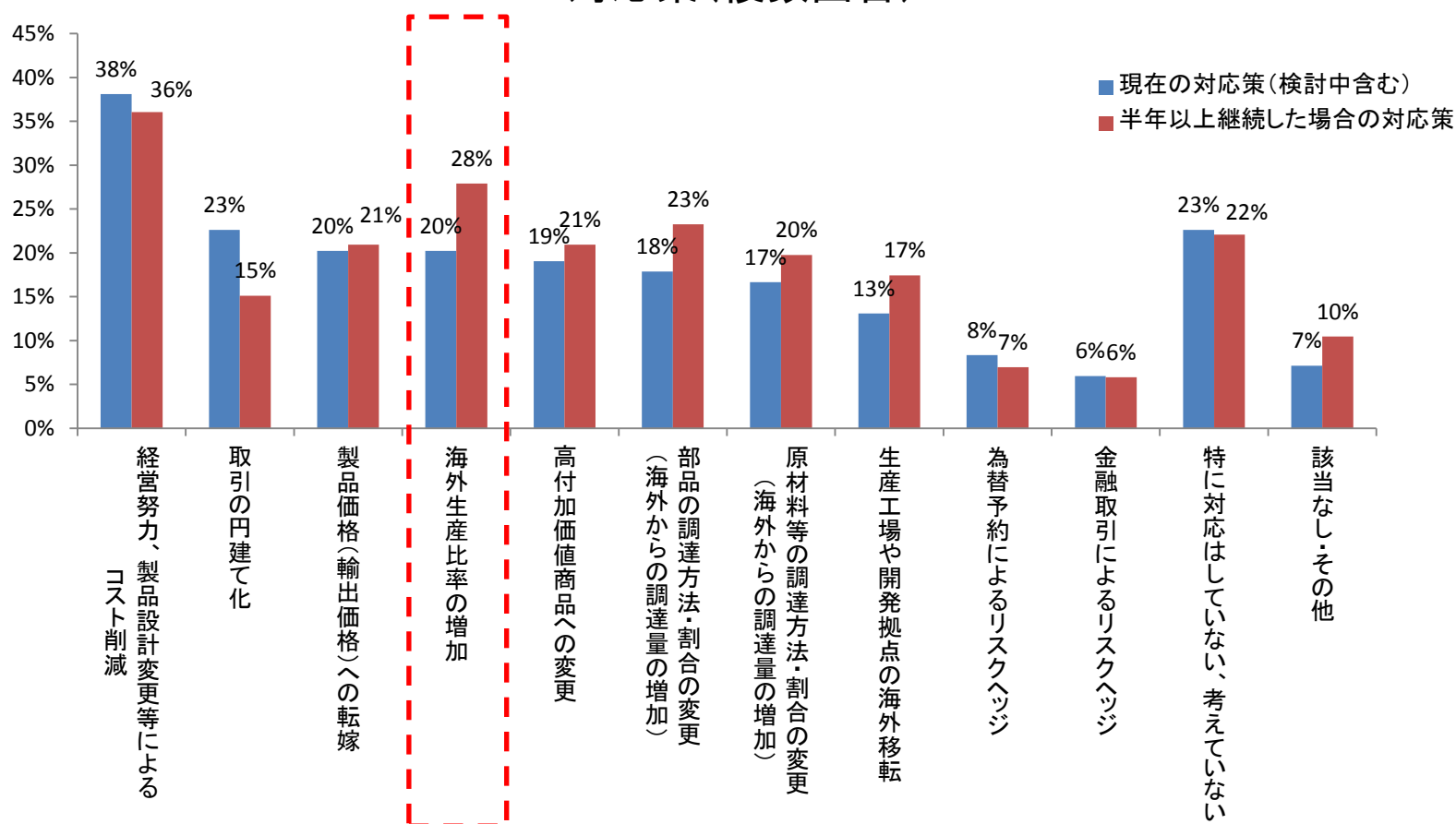


(回答数: 75)

③企業の対応策

- 経営努力等によるコスト削減や取引の円建て化で、対応を考える企業が多い。
- 為替水準が継続した場合には、海外生産比率の増加を検討する企業が増える。
- 為替予約については、回答企業の約1割が実施。円建てで取引を行うため、為替予約を必要としない企業もある。

対応策(複数回答)

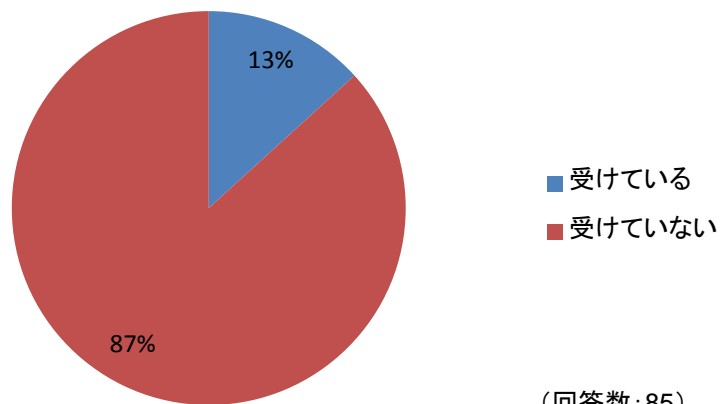


(回答数: 現在84、半年継続86)

3. 諸外国による日本企業誘致の現状

○外国からの海外進出の誘致を受けている企業もある。国別では、中国が多く、アジアを中心に日本企業への働きかけがある。

諸外国からの海外進出の誘致



(回答数:85)

誘致を受けた相手国(複数回答)

中国	7
韓国	3
その他アジア	5
アメリカ	1
ヨーロッパ	1
その他	3

その他アジアとしては、マレーシア、ベトナム、インド。南米からの誘致も存在。取引先企業からの誘いもあるが、政府系からの誘致では、税制の優遇、電力料金免除、中小企業補助金の支給、政府機関との合弁等が提示されている。